

Title	Communication-Design 14 表紙
Author(s)	
Citation	Communication-Design. 14
Issue Date	2016-03-31
Text Version	publisher
URL	http://hdl.handle.net/11094/55639
DOI	
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/>

「コミュニケーションデザイン」の定義は、現代社会の複雑な状況下において、多様な主体間の相互理解と協働を促進するためのデザインプロセスを指す。これは、単なる視覚的表現や情報伝達を超え、社会構造や文化背景を考慮し、人々の行動や意識を形作るための総合的な設計行為を意味する。本センターでは、この概念を基盤として、教育、研究、社会実践の各分野で先進的な取り組みを行っている。

本センターの活動は、主に以下の三つの領域に展開されている。第一は、教育領域における実践的学習の推進である。学生は、単に知識を学ぶだけでなく、実際の社会課題を題材として、チームワークを通じて課題解決の力を養う。第二は、学際的な研究の推進である。デザイン、心理学、社会学、メディア研究などの分野を横断し、新たな知見の創出を目指す。第三は、社会実践への貢献である。地域社会の課題を解決するためのデザイン提案や、社会啓発活動を通じて、持続可能な社会の実現に貢献している。

本センターの最大の強みは、学際性と実践性にある。異なる分野の専門家が集まり、多角的な視点から課題を捉え、実践を通じて学びを深めるという姿勢が、学生や研究者にとって大きな価値を生み出している。また、最新のデジタル技術やメディアリテラシーの教育を通じて、現代社会を生きるための重要なスキルを身につけてもらうことに注力している。

未来に向けて、本センターはさらなる学際的な連携を強化し、社会課題の解決に貢献するデザイン人材の育成を継続して行う。また、国際的な視野を持って、グローバルなコミュニケーションデザインの動向を捉え、日本の社会に還元していくことを目指している。

本センターの活動は、単に学問的な探求にとどまらず、社会実装を重視している。学生は、実際の社会課題を題材として、チームワークを通じて課題解決の力を養う。また、学際的な研究を通じて、新たな知見の創出を目指す。さらに、地域社会の課題を解決するためのデザイン提案や、社会啓発活動を通じて、持続可能な社会の実現に貢献している。

本センターの最大の強みは、学際性と実践性にある。異なる分野の専門家が集まり、多角的な視点から課題を捉え、実践を通じて学びを深めるという姿勢が、学生や研究者にとって大きな価値を生み出している。また、最新のデジタル技術やメディアリテラシーの教育を通じて、現代社会を生きるための重要なスキルを身につけてもらうことに注力している。

未来に向けて、本センターはさらなる学際的な連携を強化し、社会課題の解決に貢献するデザイン人材の育成を継続して行う。また、国際的な視野を持って、グローバルなコミュニケーションデザインの動向を捉え、日本の社会に還元していくことを目指している。

本センターの活動は、単に学問的な探求にとどまらず、社会実装を重視している。学生は、実際の社会課題を題材として、チームワークを通じて課題解決の力を養う。また、学際的な研究を通じて、新たな知見の創出を目指す。さらに、地域社会の課題を解決するためのデザイン提案や、社会啓発活動を通じて、持続可能な社会の実現に貢献している。

本センターの最大の強みは、学際性と実践性にある。異なる分野の専門家が集まり、多角的な視点から課題を捉え、実践を通じて学びを深めるという姿勢が、学生や研究者にとって大きな価値を生み出している。また、最新のデジタル技術やメディアリテラシーの教育を通じて、現代社会を生きるための重要なスキルを身につけてもらうことに注力している。

未来に向けて、本センターはさらなる学際的な連携を強化し、社会課題の解決に貢献するデザイン人材の育成を継続して行う。また、国際的な視野を持って、グローバルなコミュニケーションデザインの動向を捉え、日本の社会に還元していくことを目指している。

Communication-Design

異なる分野・文化・フィールド — 人と人のつながりをデザインする

本センターの活動は、単に学問的な探求にとどまらず、社会実装を重視している。学生は、実際の社会課題を題材として、チームワークを通じて課題解決の力を養う。また、学際的な研究を通じて、新たな知見の創出を目指す。さらに、地域社会の課題を解決するためのデザイン提案や、社会啓発活動を通じて、持続可能な社会の実現に貢献している。

本センターの最大の強みは、学際性と実践性にある。異なる分野の専門家が集まり、多角的な視点から課題を捉え、実践を通じて学びを深めるという姿勢が、学生や研究者にとって大きな価値を生み出している。また、最新のデジタル技術やメディアリテラシーの教育を通じて、現代社会を生きるための重要なスキルを身につけてもらうことに注力している。

未来に向けて、本センターはさらなる学際的な連携を強化し、社会課題の解決に貢献するデザイン人材の育成を継続して行う。また、国際的な視野を持って、グローバルなコミュニケーションデザインの動向を捉え、日本の社会に還元していくことを目指している。

本センターの活動は、単に学問的な探求にとどまらず、社会実装を重視している。学生は、実際の社会課題を題材として、チームワークを通じて課題解決の力を養う。また、学際的な研究を通じて、新たな知見の創出を目指す。さらに、地域社会の課題を解決するためのデザイン提案や、社会啓発活動を通じて、持続可能な社会の実現に貢献している。

本センターの最大の強みは、学際性と実践性にある。異なる分野の専門家が集まり、多角的な視点から課題を捉え、実践を通じて学びを深めるという姿勢が、学生や研究者にとって大きな価値を生み出している。また、最新のデジタル技術やメディアリテラシーの教育を通じて、現代社会を生きるための重要なスキルを身につけてもらうことに注力している。

未来に向けて、本センターはさらなる学際的な連携を強化し、社会課題の解決に貢献するデザイン人材の育成を継続して行う。また、国際的な視野を持って、グローバルなコミュニケーションデザインの動向を捉え、日本の社会に還元していくことを目指している。